



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 ヤマエ久野株式会社
 コード番号 8108 URL <http://www.yamaehisano.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 礼仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統轄 (氏名) 矢野 友敬

TEL 092 474 0711

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	114,112	11.9	1,201	275.3	1,026	216.2	722	618.9
2020年3月期第1四半期	129,557	9.8	685	131.6	883	104.1	139	287.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 431百万円 (1,019.9%) 2020年3月期第1四半期 38百万円 (97.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	30.49	
2020年3月期第1四半期	6.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	169,797	53,612	30.0
2020年3月期	175,773	56,116	30.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 50,891百万円 2020年3月期 52,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				25.00	25.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円 記念配当 5円

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	504,000	3.5	3,770	16.3	4,150	16.3	3,120	44.8	131.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	23,687,412 株	2020年3月期	23,687,412 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	660 株	2020年3月期	660 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	23,686,752 株	2020年3月期1Q	20,189,803 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信[添付資料]P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当企業グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、企業収益の悪化、個人消費の縮小等非常に厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は、経済活動も再開され、景気の持ち直しが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症の第2波の発生も危惧され、先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当企業グループは、「グッド アンド ビッグカンパニー」を目指し、連結子会社 24 社、非連結子会社1社及び持分法適用関連会社1社を含め、物流を伴う現物問屋として、安心・安全な商品の安定供給に努めるとともに、情報・物流・リテールサポート・品揃え・品質管理などの各機能を充実させ、総合力を活かした営業体制の構築と物流事業の拡大に努めてまいりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の中においても、「食」と「住」のインフラを担う中間流通企業として商品・サービスの安定供給に努め、社会的使命を果たしてまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間における売上高は、子会社の業務用酒販や食材卸売事業、レンタカー事業を中心に一部セグメントにおいて需要が大きく落ち込んだ影響により、1,141 億 12 百万円(前年同四半期比 11.9%減)となり、154 億 44 百万円の減収となりました。

一方、利益面におきましては、より一層の販管費削減を全社的に実施したものの、売上の減少に伴う売上総利益の減少のカバーには至らず営業損失は12億1百万円(前年同四半期は営業利益6億85百万円)、経常損失は10億26百万円(前年同四半期は経常利益8億83百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億22百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億39百万円)と新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく響いた業績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 59 億 75 百万円減少し、1,697 億 97 百万円となりました。主な要因は、「現金及び預金」の減少額 40 億 25 百万円、「受取手形及び売掛金」の減少額 29 億 78 百万円、「投資有価証券」の増加額 16 億 32 百万円によるものです。

負債におきましては前連結会計年度末に比べ 34 億 71 百万円減少し、1,161 億 85 百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少額 36 億 54 百万円によるものです。

また、純資産におきましては前連結会計年度末に比べ 25 億 4 百万円減少し、536 億 12 百万円となりました。主な要因は、「資本剰余金」の減少額 16 億 58 百万円、「利益剰余金」の減少額 13 億 14 百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加額 11 億 26 百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021 年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び収束時期が見通せない中、販売数量等に関する合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,825	17,799
受取手形及び売掛金	50,700	47,722
電子記録債権	981	987
商品及び製品	9,389	9,189
仕掛品	355	369
未成工事支出金	86	54
原材料及び貯蔵品	877	915
その他	8,094	7,618
貸倒引当金	△562	△484
流動資産合計	91,747	84,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,386	16,463
土地	23,651	23,700
その他（純額）	10,699	9,674
有形固定資産合計	49,737	49,838
無形固定資産		
ソフトウェア	537	523
のれん	18,026	17,546
その他	119	115
無形固定資産合計	18,683	18,185
投資その他の資産		
投資有価証券	9,506	11,138
退職給付に係る資産	—	24
その他	6,551	6,961
貸倒引当金	△452	△524
投資その他の資産合計	15,605	17,600
固定資産合計	84,026	85,624
資産合計	175,773	169,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,046	54,391
電子記録債務	5,667	5,429
短期借入金	8,221	11,803
未払法人税等	1,026	576
賞与引当金	1,503	845
役員賞与引当金	18	18
完成工事補償引当金	3	2
その他	14,907	14,622
流動負債合計	89,394	87,690
固定負債		
長期借入金	18,395	17,091
役員退職慰労引当金	658	327
退職給付に係る負債	584	520
その他	10,624	10,555
固定負債合計	30,262	28,494
負債合計	119,656	116,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,974	2,974
資本剰余金	3,406	1,748
利益剰余金	42,930	41,616
自己株式	△0	△0
株主資本合計	49,310	46,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,636	4,763
退職給付に係る調整累計額	△249	△209
その他の包括利益累計額合計	3,386	4,553
非支配株主持分	3,419	2,721
純資産合計	56,116	53,612
負債純資産合計	175,773	169,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	129,557	114,112
売上原価	117,784	105,015
売上総利益	11,773	9,096
販売費及び一般管理費	11,087	10,298
営業利益又は営業損失(△)	685	△1,201
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	64	59
仕入割引	20	16
持分法による投資利益	—	30
貸倒引当金戻入額	—	75
その他	208	142
営業外収益合計	299	329
営業外費用		
支払利息	60	44
売上割引	21	22
持分法による投資損失	1	—
貸倒引当金繰入額	—	68
その他	17	18
営業外費用合計	100	155
経常利益又は経常損失(△)	883	△1,026
特別利益		
固定資産売却益	4	3
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	4	3
特別損失		
固定資産除売却損	8	19
投資有価証券評価損	—	11
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	9	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	879	△1,054
法人税、住民税及び事業税	594	329
法人税等調整額	△101	△647
法人税等合計	493	△318
四半期純利益又は四半期純損失(△)	385	△735
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	246	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	139	△722

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	385	△735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	1,127
退職給付に係る調整額	△1	39
その他の包括利益合計	△347	1,167
四半期包括利益	38	431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△194	444
非支配株主に係る四半期包括利益	233	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月1日付で、連結子会社であるデリカSFホールディングス株式会社の株式を追加取得いたしました。この株式追加取得等により、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が1,658百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,748百万円となっております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、2020年6月26日開催の取締役会において、株式会社鹿島技研（以下、「鹿島技研」といいます。）の全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。また同日付で株式譲渡契約を締結し、7月1日付で全株式取得（以下、「本株式取得」といいます。）いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社鹿島技研

事業の内容 一般建設業、鋼製型枠・金物・鉄筋製造業、ISベース柱脚事業

② 企業結合を行った主な理由

当社は、2020年4月からスタートした新中期経営計画「NEW STAGE 2022」（2020年度～2022年度）において、「食」と「住」を事業の柱とする卸売業として更なる成長を果たすべく、「九州での圧倒的シェアの堅守、九州外エリアでの基盤確立」を基本戦略の一つの柱として掲げ、事業に取り組んでおります。

鹿島技研は「より快適な環境づくりを技術と信用でサポートし社会のニーズに応える。」を経営理念とする、プレキャスト製品に関する鋼製型枠・金物・鉄筋加工メーカー、ISベース柱脚代理店として、販売から施工・管理まで行う、国内有数の企業です。

本株式取得は、九州・関東地区における双方事業の更なる市場深耕と成長が図れるものと判断し行うものであります。

③ 企業結合日

2020年7月1日（株式取得日）

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得する議決権比率

100.0%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,350百万円
取得原価		1,350百万円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	11百万円
-----------	-------

(4) 発生するのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

投資有価証券の売却

当社は、2020年8月11日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議いたしました。

(1) 投資有価証券売却の理由

保有資産の効率化及び財務体質の強化を図るため。

(2) 投資有価証券売却の年月日

2021年3月期第2四半期中

(3) 投資有価証券売却の内容

① 売却投資有価証券	当社保有の投資有価証券
② 売却益見込額	1,244百万円

(4) 業績への影響について

当該投資有価証券の売却により、2021年3月期第2四半期において、約1,244百万円の特別利益を計上する見込みです。